



ふらの未来の会  
渋谷 正文

## 定住自立圏構想と財政措置

**問** ①平成26年度予算で反映している事項は何か。②富良野地区定住自立圏共生ビジョン策定に向けての今後の進め方は。

**答** ①救急医療や医師確保対策をはじめとする医療分野、介護や障がい者の認定審査をはじめとする福祉分野など、既に広域連携し取り組んでいる事業が包括的財源措置の対象となる。②共生ビジョン案を3月中にまとめ、民間関係者を構成員とする(仮称)共生ビジョン懇談会で協議・検討され、市として決定し、総務省へ提出予定である。

## 観光振興

**問** ①花を中心とした彩りによる地域づくりの基本的な考えについて。②ワンストップサービスの充実について伺う。

**答** ①富良野市観光振興計画後

期5か年を平成25年度に策定し、花・彩りを重点項目とした取り組みを推進している。平成26年度は、北の峰地域では道々北の峰線を追加し山部・東山地域においても引続き地域住民との協働などによる取り組みを予定する。②観光の受入環境の整備と情報の発信充実に向けて、今後インフォメーション業務に支援を継続していく。

## 小規模校の教育環境の支援

**問** 小規模校の良さを維持し、小規模校が抱える課題を解決し、今後予想される統廃合問題にどう向き合うのか。より良い教育環境への支援について伺う。

**答** それぞれの学校で培ってきた創意工夫の授業展開等、児童生徒の個性を生かす特色のある教育実践を、地域の教育力を最大限活用し取り組む。学校の再編は、子ども達にとって最善の方策を、今後も保護者や地域と十分に話し合い取り組む。

## 【その他の質問】

・子育て支援と待機児童の解消  
・障がい者の日常生活及び社会生活の支援 など



市民連合議員会  
岡本 俊

## 財政運営

**問** 平成26年度財政運営における基本的な考えは。

**答** 社会福祉関係経費や公共施設の老朽化に伴う維持管理費の増大など厳しい財政状況の中、国の地方財政対策を踏まえながら第5次総合計画を推進し、事業の優先順位を明確にし「身の丈に合った予算」を基本に骨格予算として予算編成を行った。

## 中心街活性化

**問** 中心市街の空地・空き家対策の取り組みについて。

**答** 中心市街地活性化計画に基づいて商店の魅力アップ事業を行い補助金、融資制度の限度額の引き上げ、保証料や利子に対する助成をし15件の新規出店があり、不動産の流動化を下支えによって担保価値を守っており、今後もこの取り組みを行う。

## 農業政策

**問** 第2次富良野市農業及び農村基本計画の予算反映について。

**答** (仮称)農業担い手センター整備、緑峰高校農業特別専攻科の存続対策、農地排水対策、日本型直接支払制度など財源確保も含め、政策予算として予算化に向け対応する必要がある。

## 地域コミュニティ活動

**問** 地域コミュニティ活動活性化の取り組みは。

**答** 地域課題などテーマ性をもったの協働による取り組み、共助による地域づくりを支援するとともに、連合町内会同士の交流の推進など「気づき」「学び」による地域活動の活性化によって人づくりを図る。

## 職員適正化

**問** 今後の大量退職及び年齢階層に配慮した職員採用について。

**答** 大量退職への備えは「定員適正化計画第三次計画」に反映しており、年齢バランスは「公平で透明・計画的採用」の継続を行い改善されるものと考えている。